

日本語教育の新規立ち上げに向けた連携と アドバイザーの活用

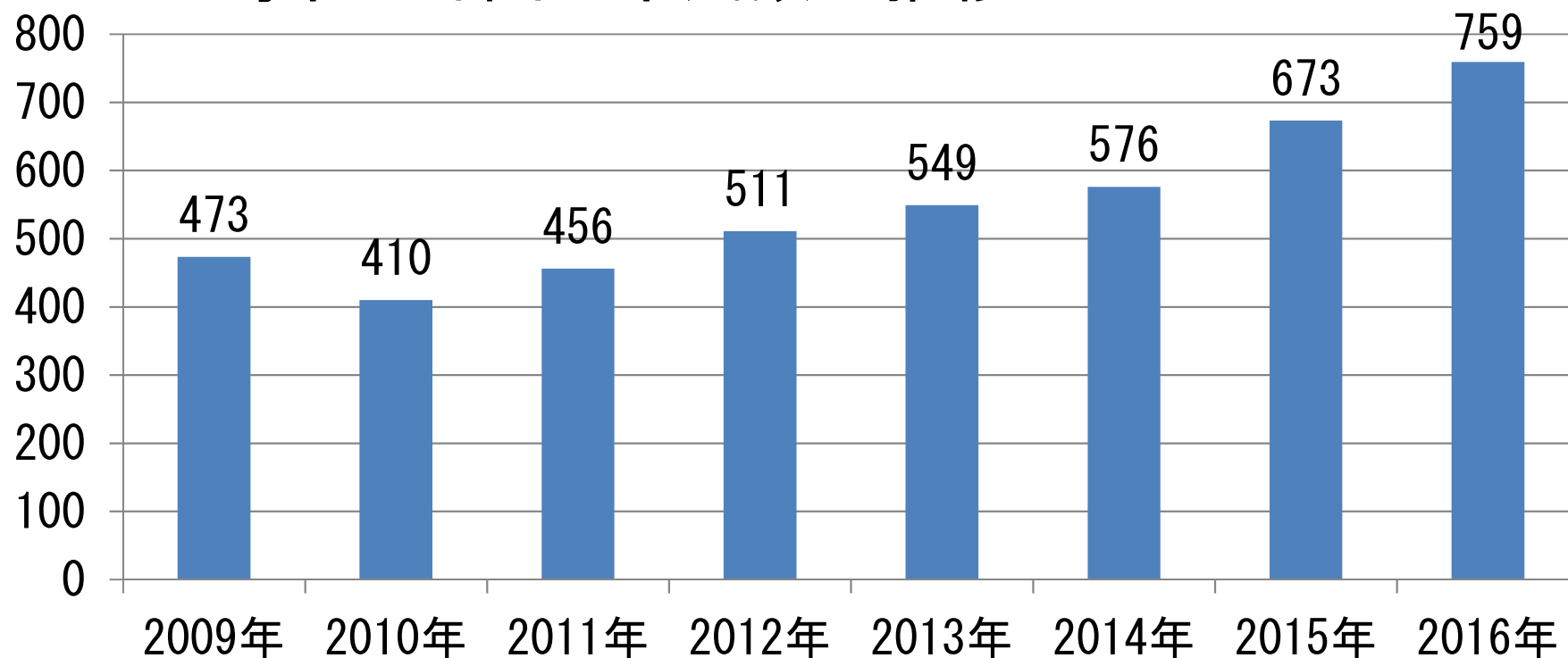
ー地域日本語教育スタートアッププログラムを実施してー

江田島市 市民生活部 人権推進課
蔵下恵

(公財)ひろしま国際センター
犬飼康弘

背景

■ 江田島市の外国人市民数の推移



【出身地別 外国人市民数(2016年末)】

中国	韓国	フィリピン	ベトナム	ブラジル	米国	その他	計	人口比
184	15	191	188	9	9	163	759	3.19%

背景

- 2013年3月14日、江田島市のカキ養殖加工会社で、中国人の技能実習生により同工場の日本人経営者を含めた社員8人が殺傷される**事件発生**
- 2015年3月13日、広島地裁の裁判員裁判により無期懲役判決
- 動機については、「さみしさや言葉の壁から精神的に追い詰められていた」として計画性を否定
- 検察と被告人双方とも控訴しなかったため、無期懲役判決が確定

背景

- 江田島市では事件後に**市役所の庁内会議**として「**江田島市外国人市民支援会議**」を設置
 - 2013年9月に実習生を招いたフットサル大会を、2014年3月9日には住民と実習生の交流イベントを開催
- 民間ボランティア団体が設立
(2014年に事件とは無関係に設立。別の課題から)
- **市民、企業、関係団体を巻き込んだ**「江田島市外国人市民交流推進協議会」設置

背景

- 「外国人市民交流事業」を実施
(スポーツ・食文化教室等)
- 2015年度「第2次 江田島市総合計画」内にて、
「外国人市民との交流や相互理解による**多文化共生社会の実現**」が記載
- 2016年度より、**多文化共生相談員**(フィリピン・中国)を雇用



多文化共生・地域日本語教育への取り組み

■ 2013年8月

－ 「やさしい日本語」研修を実施

- 牡蠣業者を中心に水産加工業に従事している方、協働組合の方が主な対象
- 「やさしい日本語」よりも、注意喚起するための中国語を教えてほしいとの要望もあり

多文化共生・地域日本語教育への取り組み

■ 2015年12月

– 市民講座として「やさしい日本語」研修実施

- 「やさしい日本語」研修の実施と、その受講者による、いわゆる「地域日本語教室」の開講を提案
- ファシリテーターを(公財)ひろしま国際センター講師が努め、学習者のニーズを引き出し、一緒に行事や学習活動をすることを目指した
- 2016年1～3月に、月1回程度、2会場で実施

多文化共生・地域日本語教育への取り組み

■ 2016年6月

- 日本語ボランティア基礎講座実施
- 江田島市役所 大柿支所(当時)にて、3回シリーズ

■ 2016年9月

- 文化庁 地域日本語教育スタートアッププログラム開始

江田島市の変化

- 事件に関連した継続的なメディア報道等
- 行政・市民の関心の高まり/意識の変化
 - 当事者意識
 - 技能実習生：「3年経てば帰る人」→「市民の一人」
- 他市町・機関等との連携
 - 研修の依頼や事例視察等
 - 「日本語教室」とは…？

江田島市の変化

- キーパーソンの出現
 - 国際交流グループ
 - 多文化共生相談員
- 交流(対話)の場の創造
 - 国際交流イベント・スポーツイベント等
 - 各種研修等の実施
 - きっかけ作り



日本語教室まで、あと一歩…

- 日本語教育に造詣のあるキーパーソンの確保
- フィリピン出身の多文化共生相談員からの情報提供
 - 日本語学習のニーズや、生活の中での困りごと等
- しかし…
 - 学習者は集まるのか？
 - ボランティアは、集まるのか？
 - 誰が、どのように始めるのか？
 - まず、何からすれば良いのか？

「地域日本語教育スタートアッププログラム」の活用

地域日本語教育スタートアッププログラム

■ 2016年9月

– 第1回 打ち合わせ会議等

- 市長表敬・市の概要説明・市内視察
- 「教室」の方向性の確認
- 実施体制および今後の事業計画等

■ 2016年11月

– 第2回 打ち合わせ会議および交流イベント視察

- 江田島市国際親善スポーツ 見学
- 情報共有および第2回 打ち合わせ
 - フィリピン人の方から、「日本語教室はありませんか？」等の問い合わせ
 - 仕事をしている時の言葉がわからない等
 - その他、「車を運転しているが、日本の交通ルールをもっと知りたい」といった相談等

地域日本語教育スタートアッププログラム

■ 2017年2月

– 新市長表敬

– 日本語ボランティア講座 実践編①

- 「やってみよう！ 日本語で交流！ ～楽しく伝えて、楽しくすごそう～」

– 「みんな毎日どんな生活してるの？みんなの活動範囲を知ろう！」

– 「地域で『暮らす』地域の『人財』をみつけよう・つながろう！」

– 「楽しくなくっちゃ続かない！ 日本語活動を組み立ててみよう！」

地域日本語教育スタートアッププログラム

■ 2017年3月

– 日本語ボランティア講座 実践編②

- 「カードや小道具などを使った日本語活動を考えてみよう！」

– プレ教室の実施



地域日本語教育への取り組み

■ 2017年4月

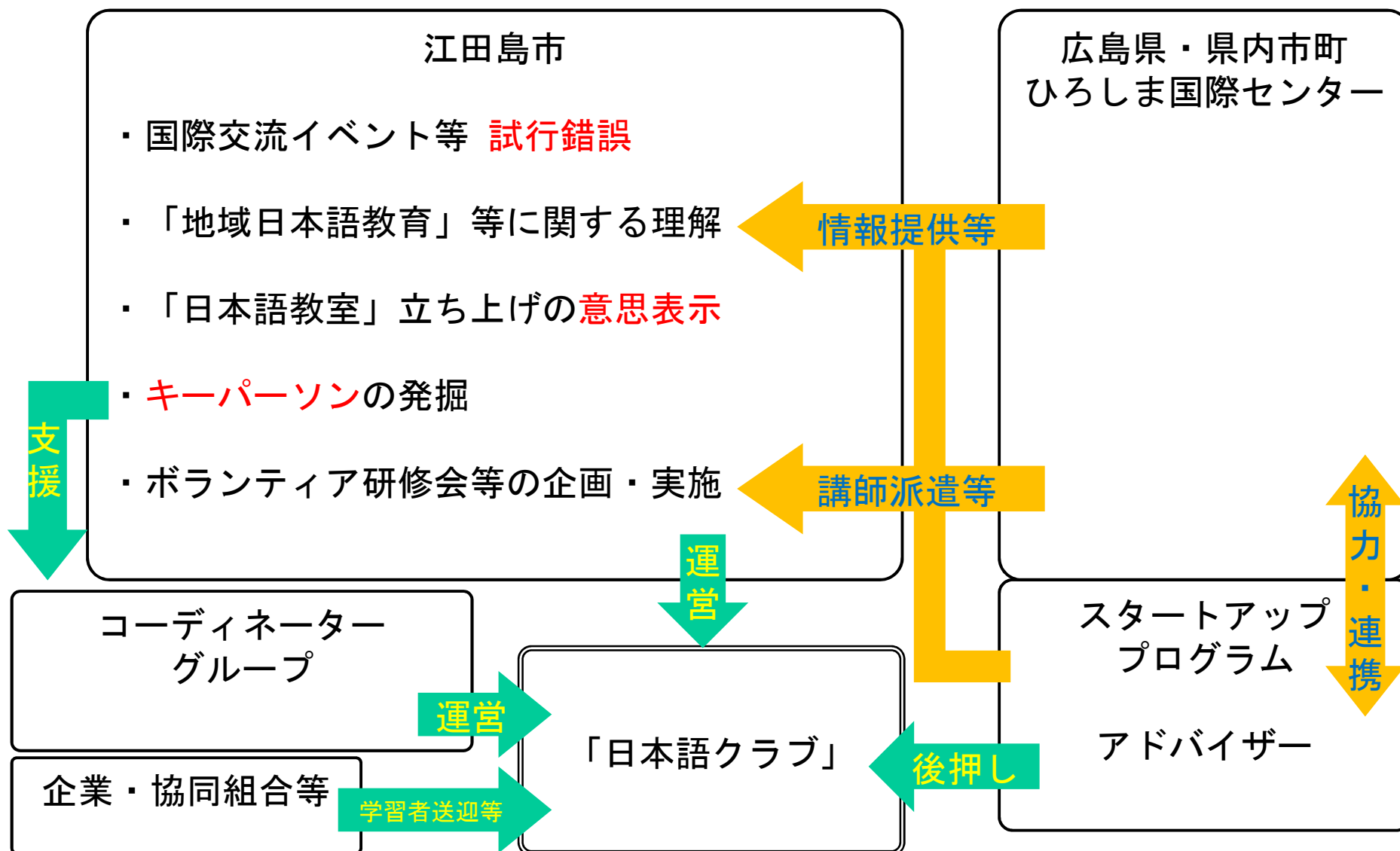
– 江田島市内で地域日本語教室「日本語クラブ」 立ち上げ

- 日 時：毎月 第1・第3日曜日13：30～15：00
- 場 所：島内の商業施設内の教室
- 参加者：第1回…フィリピン：11名
 バングラデシュ：6名
 アメリカ：1名
 ミャンマー：1名
 日本：16名(関係者を含む)
第2回…フィリピン：14名
 ミャンマー：1名
 日本：12名(関係者を含む)

日本語教育の新規立ち上げに向けた連携

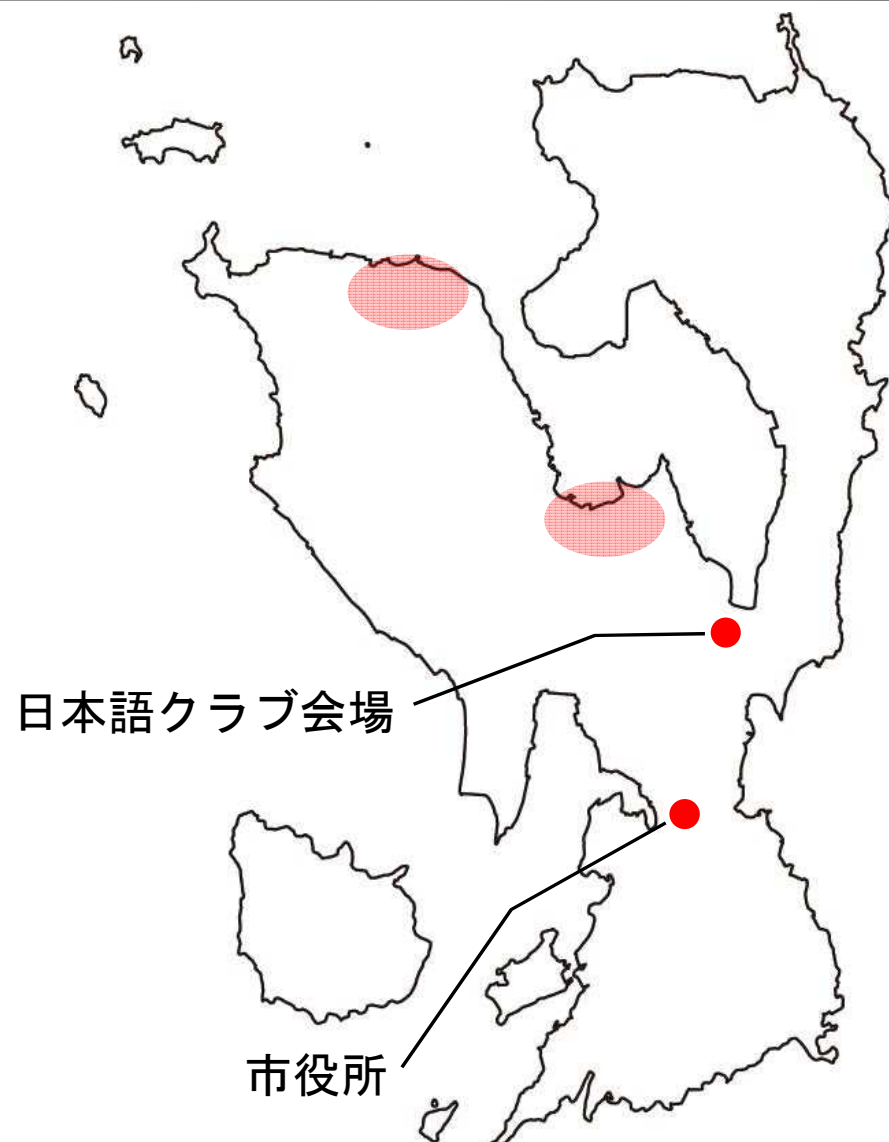
- 江田島市内の連携
 - 市役所
 - ボランティアグループ
 - 企業等
- 県・関係機関との連携

日本語教室の新規立ち上げに向けた連携

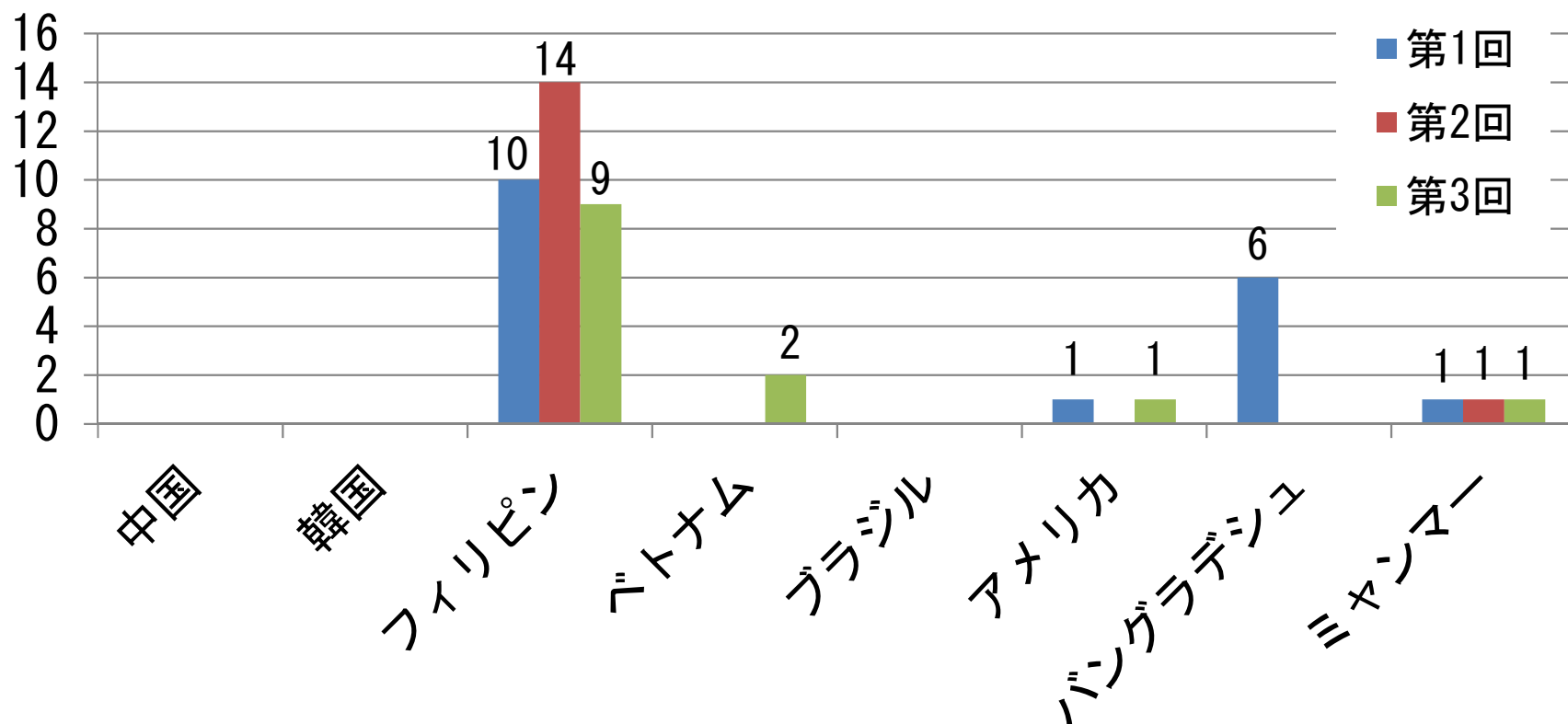


日本語クラブの主な課題

- 技能実習生の参加
 - 交通アクセス
 - 企業側の理解
 - 会場の確保
 - ボランティアの育成
- 庁内・市民の協力
- 「日本語クラブ」のPR



日本語クラブ参加者傾向



【出身地別 外国人市民数(2016年末)】

中国	韓国	フィリピン	ベトナム	ブラジル	米国	その他	計	人口比
184	15	191	188	9	9	163	759	3.19%

今後の展望

- 市内複数個所での日本語教室の開講
- 地域との協力・連携
- 多文化共生の推進

全ての人にとって住みやすい「まちづくり」